

# 2007年3月期 中間決算説明会

(2006年4月1日 ~ 2006年9月30日)

2006年11月21日

- . 2007年3月期 中間連結決算概要
- . 2007年3月期 連結決算見通し
- . 既存事業の事業概況

# . 2007年3月期 中間連結決算概要

# 2007年3月期 中間連結決算ハイライト

(百万円)	2007年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前期 増減率	業績予想値 (2006/5/20)
売上高	3,382	3,207	+ 5.5%	3,700
精機部門	1,036	2,474	58.1%	1,200
光製品部門	2,345	733	+ 219.8%	2,500
営業利益	5	788	99.3%	180
経常利益	66	892	92.5%	200
当期純利益	308	499	38.2%	510

売上高は微増ながら大幅な減益に  
精機事業の落ち込みと光事業買収に係る一時費用増加が要因

# 2007年3月期 中間連結決算ハイライト

(百万円)	2007年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前期 増減率
受注高	3,684	3,037	+ 21.3%
受注残	756	547	+ 38.1%
設備投資	458	208	+ 120.2%
減価償却費	360	260	+ 38.3%
研究開発費	276	195	+ 41.5%

# セグメント業績 / 精機部門

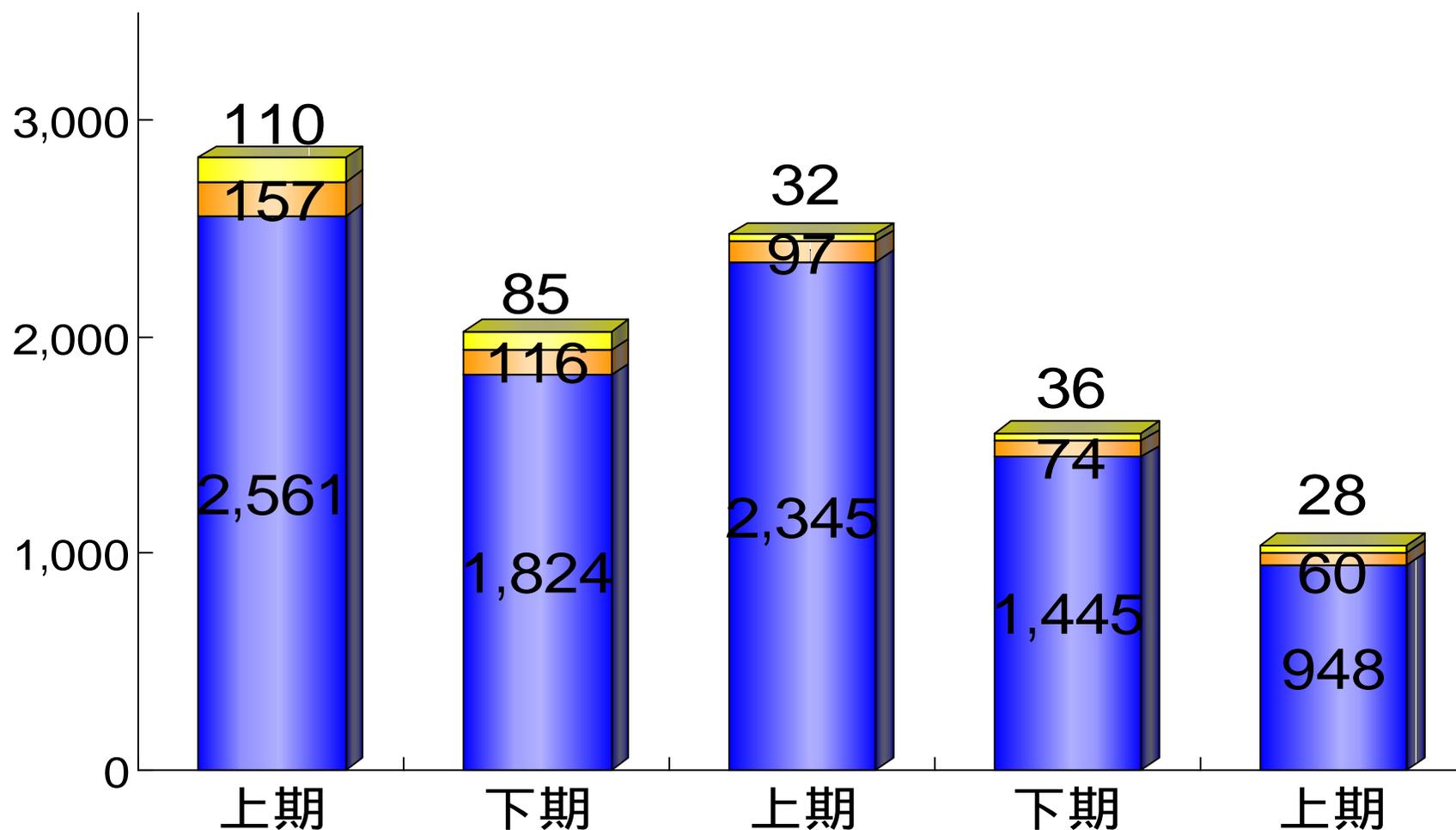
(百万円)	2007年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前期 増減率
売上高	1,036	2,474	58.1%
営業費用	966	1,577	38.7%
営業利益	70	897	92.1%
営業利益率	6.8%	36.3%	29.5%

**DVD成形用金型の需要は、新規金型・メンテナンス共に減少  
受注減から稼働率が低く、営業利益は大幅に減少**

# セグメント別売上高 / 精機部門

百万円

■ DVD ■ CD ■ その他



2005年3月期

2006年3月期

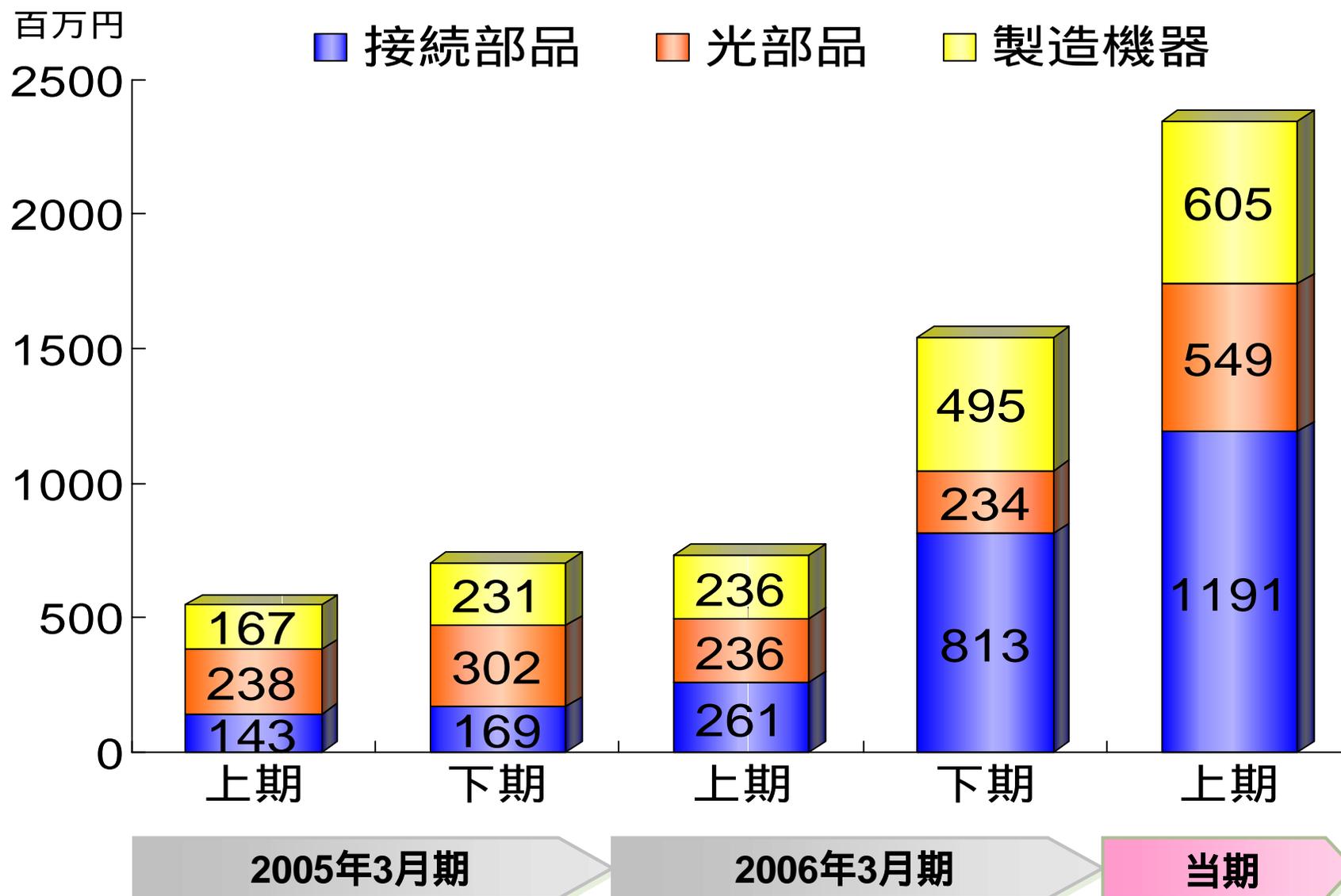
当期

## セグメント業績 / 光製品部門

(百万円)	2007年3月期 中間	2006年3月期 中間	対前期 増減率
売上高	2,345	733	+ 219.8%
営業費用	2,410	842	+ 186.2%
営業利益	64	108	
営業利益率	2.8%	14.8%	+ 12.0%

市場の活性と事業統合により、売上高は大幅に増加  
事業統合に関わる一時的な費用の発生等で赤字が継続

# セグメント別売上高 / 光製品部門



# 連結貸借対照表

科目	(百万円)		
	2007年3月期 中間	2006年3月期	増減額
<資産の部>			
流動資産	17,391	16,915	+ 476
固定資産	8,816	9,312	496
資産合計	26,207	26,227	19
<負債及び純資産の部>			
流動負債	1,154	815	+ 338
固定負債	561	623	61
純資産の部	24,491	24,709	217
負債純資産合計	26,207	26,227	19

# 連結キャッシュフロー計算書

項目	(百万円)	
	2007年3月期 中間	2006年3月期
営業 C F	468	1,570
投資 C F	557	3,502
財務 C F	361	450
現金増加額	448	2,356
期首残高	2,863	5,219
期末残高	2,415	2,863

# . 2007年3月期 連結業績見通し

# 2007年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期 実績	下半期 見通し	通期 見通し	前期実績	対前期 増減率
売上高	3,382	3,818	7,200	6,304	+ 14.2%
営業利益	5	75	80	1,048	92.4%
経常利益	66	94	160	1,217	86.9%
当期純利益	308	22	330	756	56.3%
設備投資	458	192	650	977	33.5%
減価償却費	360	408	768	573	+ 34.0%
研究開発費	276	280	556	472	+ 17.8%

# 2007年3月期 連結業績見通し（部門別）

(百万円・%)

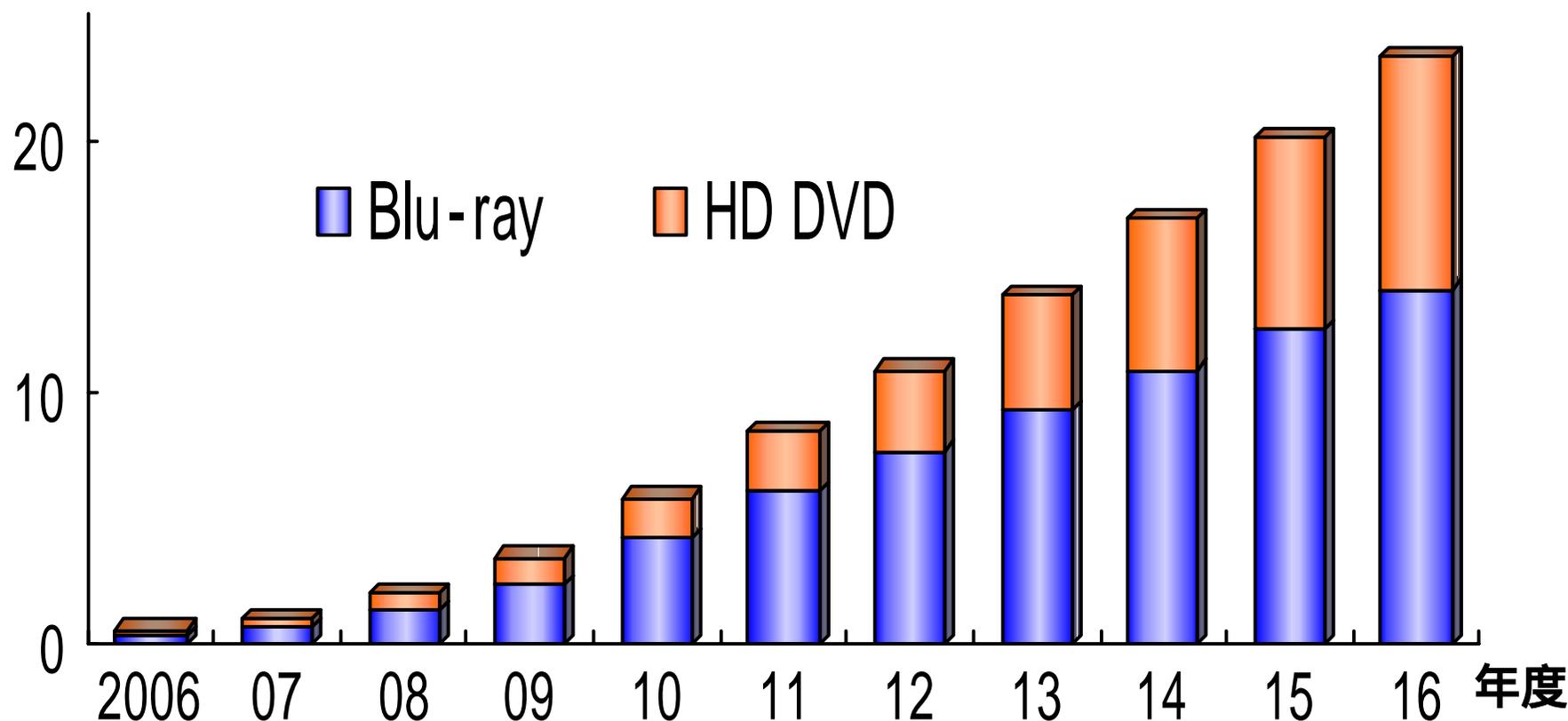
部門	上半期実績	下半期見通し	通期見通し	前期実績	対前期増減率	期初予想 (06/5/20)
<b>精機部門</b>						
売上高	1,036	1,044	2,080	4,029	48.4	2,600
営業利益	70	40	110	1,275	91.4	530
<b>光製品部門</b>						
売上高	2,345	2,775	5,120	2,275	+125.1	5,200
営業利益	64	35	30	227		50

# ・既存事業の事業概況

# 精機部門の事業環境

(億枚)

次世代光ディスク世界市場推移予測



出典：株式会社 日本エコノミックセンター「'07 次世代光ディスク市場の将来展望」

## 精機部門の事業環境

# ブルーレイ HD DVD 決戦は来年末

次世代DVDプレーヤー

東芝が廉価版投入

次世代DVD機  
早くも混乱模様

規格の存亡かけ激突

ブルーレイ対  
HD DVD 決着は販売実績で

■ステップ3・これからは

普及は来年以降

規格争いの勝敗  
3年以内に決着

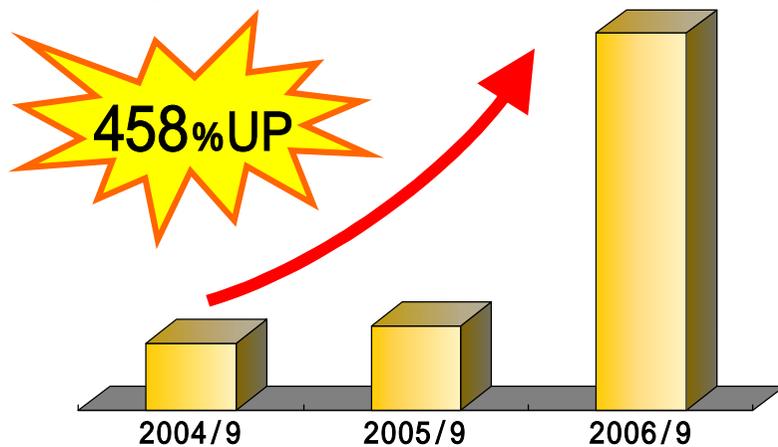
(出典:日本経済新聞、日刊工業新聞、フジサンケイビジネスアイ)

# 光製品部門の事業環境

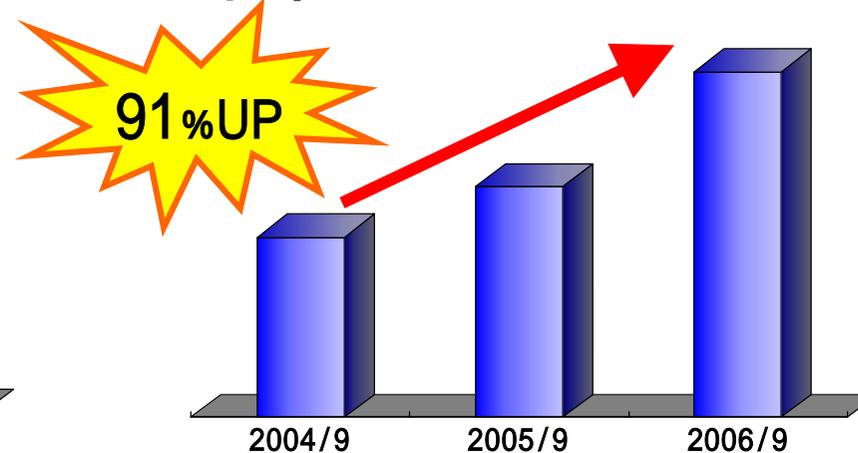
		2006	2008	2010
キャリア				
システム	メトロ			
	ロング			
デバイス	メトロ			
	ロング			

# 販売力の強化に向けた取り組み

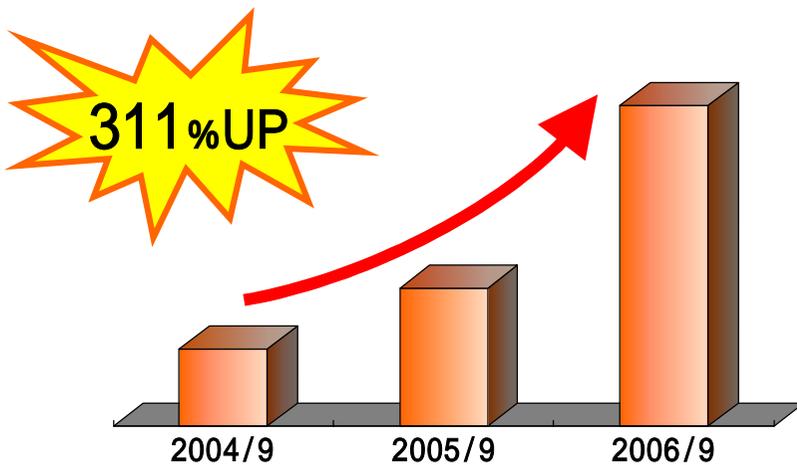
■ 日本



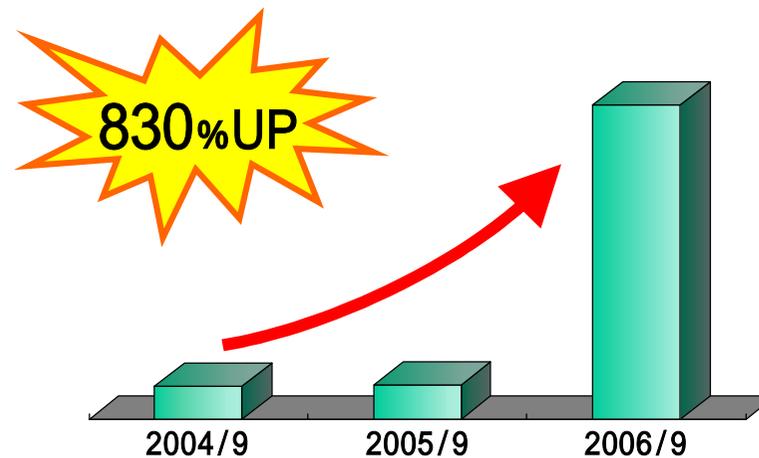
■ 北米



■ アジア



■ ヨーロッパ



## 販売力の強化に向けた取り組み

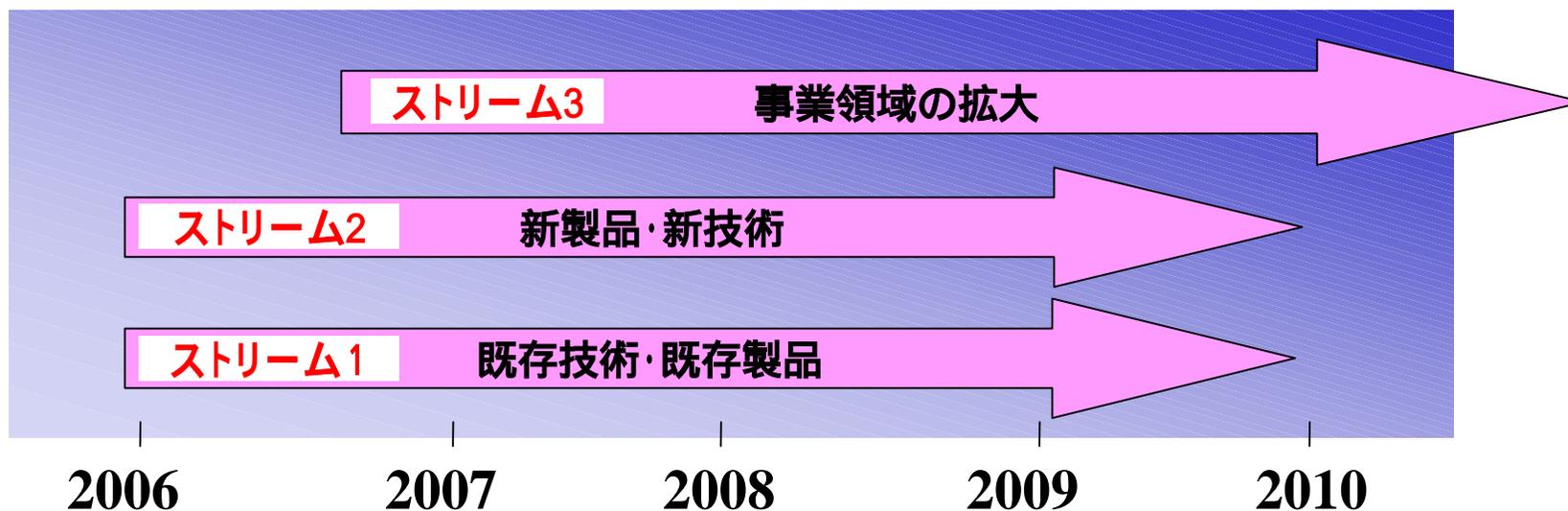


2006年6月 香港精工技研 設立

## 収益改善に向けた取り組み

<p><b>製 造</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工場の集約</li> <li>・ 現地調達強化</li> </ul>
<p><b>販 売</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル販売網の活用</li> <li>・ ロジスティクスの集約</li> </ul>
<p><b>技 術</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術提携強化</li> <li>・ 製品の統合</li> </ul>

# 光製品部門の事業戦略



ストリーム 3	保有技術の応用による通信関連以外の事業領域へ進出
ストリーム 2	技術・製品の応用/組合せによる高付加価値化商品
ストリーム 1	製品の原価低減およびシェアアップ 製品の選択と集中による効率化

